

付け、同13日に開村する。説明書等は市ホームページから入手できる。

各工事の主な参加資格等は次の通り。

「中河内中継ポンプ場建設」

参加資格Ⅱ2、3社構成J Vまたは単体。J Vの代表者は建築一式工事の等級「A」で、ニューマチツクケソンの施工を有する工事（掘削深さ12m以上の実績。代表者でない構成員は同等級「A」または「B」で、コンクリート施工量が500㎡以上のRC構造物の施工を有する工事の実績。単体は同等級「A」で、ニューマチ

帯工、門柵工、仮設工一式設計Ⅱ大広エンジニアリング

工期Ⅱ27年3月10日

その他Ⅱ契約後V E

「江波水資源再生センター電気設備」

参加資格Ⅱ電気工事の等級「A」。定格出力が500kVA以上の自家発電設備を製作（自社製作に限定しない）、据付したことを有する工事の実績（掘削深さ12m以上の実績。代表者でない構成員は同等級「A」または「B」で、コンクリート施工量が500㎡以上のRC構造物の施工を有する工事の実績。単体は同等級「A」で、ニューマチ

工事場所Ⅱ安佐南区八木9丁目

工事概要Ⅱ耐震補強・PCAアウトフリューム27

構造Ⅱ杭基礎新設16カ所、耐震壁新設2カ所、柱S R F補強2カ所、構造スリット33カ所、4階鉄骨造部ブレース補強、耐震補強工事に伴う内外装外構、建具改修、機械設備改修、電気設備改修

工期Ⅱ26年1月31日

改修・PCAアウトフリューム48構面、RC耐震壁3カ所、開口閉塞7カ所、耐震スリット28カ所、鉄骨つなぎ補強6カ所、2号棟耐震改修・RC耐震壁10カ所、耐震改修に伴う改修、便所改修、機械設備改修、電気設備改修

設計Ⅱ一級建築士事務所9月の風

され、土木一式工事の等級「A」。落石防止工の施工面積830㎡以上の施工を有する工事の実績（防護ネット）280㎡、工事場所Ⅱ佐伯区湯来町大字多田

工事概要Ⅱ工事延長約160m、落石防護柵工（防護ネット）280㎡、落石防止網工（ポケット式防護網）約1400㎡（合計1700㎡）、仮設工、落石予防工一式

設計Ⅱダイコーコンサルタント

工期Ⅱ3月31日（予算繰越議決後に延期予定）

「大塚地区特環下水道築造24-1号」

参加資格Ⅱ土木一式工事の等級「B」または「A」。延長が79m以上の下水道本管（小口径管推進、中大口径管推進、シールド工法に限る）の施工を有する工事の実績（サルタント

工期Ⅱ3月31日

町ほか1町

工事概要Ⅱ埋設による公共下水道布設・内径200mm、施工0m

設計Ⅱ荒谷サルタント、安佐

工期Ⅱ3月31日

延期については別

設計Ⅱアープラン

工期Ⅱ34

「江波地区下24-54号」

参加資格Ⅱ工事の等級「R」

「C」。

完成工事平均以上または23が76点以上。0m以上の下（布設工法は間管更生工法はの施工を有する）

工期Ⅱ3月31日

町ほか1町

工事概要Ⅱ埋設による公共下水道布設・内径200mm、施工0m

設計Ⅱ荒谷サルタント、安佐

工期Ⅱ3月31日

延期については別

例 本紙座談会をフォロー 定サロ ン

—— 広島県コンクリート診断士会 ——



広島県コンクリート診断士会（米倉重州夫会長）による第8回目の定例サロンが16日、広島市東区光町の極東興和本社会議室で開かれた。サロンには米倉会長や鈴木智郎副会長ら会員約20人が出席。会の幹部にも参加して開催された座談会「中国地方のコンクリート構造物補修技術の課題と展望」（本紙元号掲載）を題材に、内容をわかりやすく解説した。

広島県コンクリート診断士会（米倉重州夫会長）による第8回目の定例サロンが16日、広島市東区光町の極東興和本社会議室で開かれた。サロンには米倉会長や鈴木智郎副会長ら会員約20人が出席。会の幹部にも参加して開催された座談会「中国地方のコンクリート構造物補修技術の課題と展望」（本紙元号掲載）を題材に、内容をわかりやすく解説した。

この日のサロンでは、鈴木副会長が司会進行役を担当。「今回は座談会の内容を噛み砕き、わかりやすくフォローすることを目的。また、当会では材料や技術の情報を惜しまず公開する。皆さんがお土産となる知識を持って帰れるよう、ぜひ積極的に発言してほしい」と

述べて、座談会の内容をまとめた資料をもとに詳しく解説を行うとともに、豊富な現場経験に基づいた経験談や代表的な補修事例などを紹介。

途中で中国地方整備局道路部の川端誠道路保全企画官も加わる中、各参加者も鈴木氏の求めに応じて意欲的に発言し、技術者の間でもあまり知られていないアラッド繊維の線膨張係数の話題では、参加者が一斉にメモをとる場面もあった。

また、米倉会長はサロンの終盤で持論である「潤養生を十分に行い、空隙の少ないコンクリートを施工すること」の重要性を改めて説くことも、新年らしく業界が目指すべき将来像にも触れ、終了後には懇親・新年会でいっそこの親睦が図られた。

南消防署輛出張所の移転改築 移転予定地 建物解体へ

福山市消防局

【福山】福山市消防局は、輛地区を中心に市南部を管轄する防災拠点として、福山地区消防組合南消防署輛出張所（輛町輛50-12）の移転改築を計画。移転予定地にある建物の解体工事に入る。局では、来年度から2

26年12月の供用開始を予定する。

移転予定地は主要地方道福山線沿いで、輛プラザに隣接する市南部事業所・市上下水道局の輛出張所等の跡地約1650㎡（輛町後地）。解体工事では、旧南部事業所輛出張所（S造2階建延べ405㎡）、旧上下水道局輛出張所本館（S造2階建延べ242・44㎡）、同別館（S造平屋建て79・95㎡）の3棟を解体撤去し、年度内で移転改築にむけた用地整備を行う。

施工は、条件付一般競争入札の結果、サンスイ（落札額1046万9300円）が担当し、3月中旬までには完工する見通し。

輛出張所の実施設計は現在、堀江建築設計事務所（建築）、佐藤設計（設備）で進められており、履

行期限はともいまで。計画では規模はRC造2約1350㎡、階に事務室や倉庫、3階には全練室、休憩室がある。

局では、来年度内に改築工事り込む方針。総本設計の段階で800万円（税別）しており、新9月末の竣工を期開始までの2現庁舎からの移進めたいとして

なお、移転改地質調査は広達タツツ、建物等は都市総合設計それぞれ受託。

は昨年までに終調査についてはすでに終える予定